

AVINO

CDプレーヤー

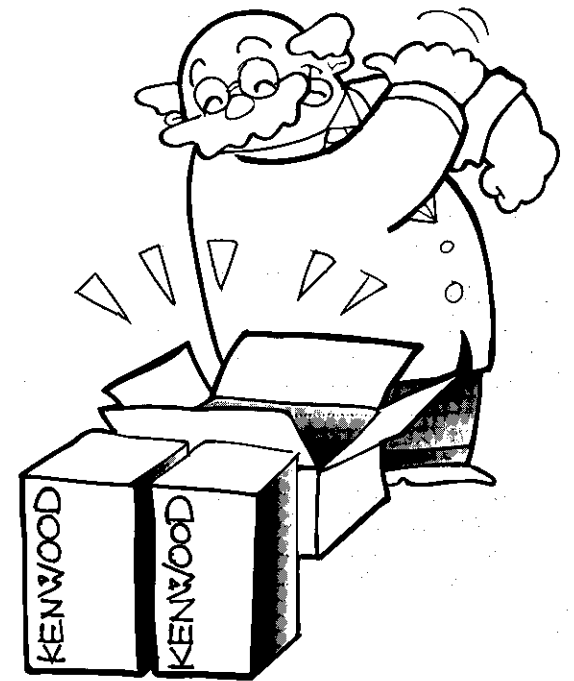
DP-SG7

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返しお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

本説明書の他に、取扱説明書・別冊『安全上のご注意』が付属されています。
使用者の安全のため、必ず別冊の内容もお読みの上ご使用ください。



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話（03）3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
（大阪）電話（06）6357-5335 〒534-0024 大阪市都島区東野田町 1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーションにご相談ください。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
TEXT

KENWOOD

B60-4365-00 00 (MA) (J) (AP) 9902

本機の特徴

いろいろな再生モード

いろいろな再生モードを用意しています。

プログラム再生

CDの曲順を並べ替えて聴くことができます。

リピート再生

気に入ったディスクや曲を繰り返し聴くことができます。

ランダム再生

予期しない曲順でCDを聴くことができます。

CD TEXT対応

別売のMDプレーヤー(DM-SG7)を接続すると、CDのTEXT情報が、MDプレーヤーに表示されます。

CDをテープへ録音するときに便利な編集機能を搭載

時間を指定すると、指定時間内に収まるようにCDの曲順を編集します。テープへ録音するときに便利です。

本機は、アビーノシリーズと組み合わせることにより、CDの編集録音や、イージーオペレーション、タイマー再生などの便利な機能をお使いいただけます。また、アビーノシリーズのアンプ・チューナー(R-SG7)に付属のリモコンでプログラム再生、ランダム再生などの便利な機能をお楽しみいただけます。詳しくは、アンプ・チューナー(R-SG7)に付属のシステム取扱説明書をお読みください。

本機をアビーノシリーズ以外のアンプと組み合わせてご使用の場合、本機付属のリモコンを使用すると、プログラム再生、ランダム再生や編集機能をお楽しみいただけます。

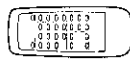
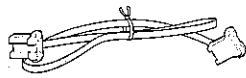
目次

はじめに	2	繰り返し聴く(リピート再生)	12
本機の特徴	2	一枚のディスクを繰り返し聴く	12
接続のしかた	4	選んだ曲だけを繰り返し聴く	12
各部のなまえと働き	6	予期しない曲順を楽しむ(ランダム再生)	13
リモコンの使いかた	7	編集のしかた(EDIT)	14
通常再生のしかた	8	編集した内容を再生、または録音するには	14
1曲目から順に聴く	8	編集した内容を確認する	15
好きな曲から聴く	9	編集した内容を取り消す	15
曲を飛び越すには(スキップ)	9	知っておきましょう	16
早送り・早戻しするには(サーチ)	9	故障かな?と思ったら……	17
曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)	10	定格	18
プログラムした曲の確認、変更するには	11	保証とアフターサービス	19
曲を追加するには	11		
プログラムした曲を取り消すには	11		


付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

オーディオコード(1本) システムコントロールコード(1本) リモートコントロールユニット(RC-PSE9)(1個) リモコン用乾電池(R6/SUM-3)(2本)



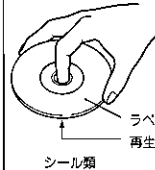
本機で使用できるディスクについて

CD(12cm、8cm)、CDVとCD-G(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。ディスクレベラ面に  のマークが入ったものなどIEC規格に合格したものをご使用ください。

異常なディスクは使用しない

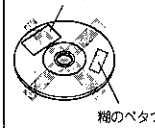
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくぞったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスク取扱上のご注意

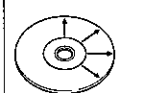


取り扱い

再生面にふれないように持ってください。



再生面はもちろん、ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。



お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

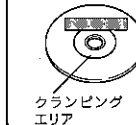
長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

ディスクアクセサリについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

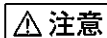
レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があります。ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。シール類をはがした後、糊がラベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のべたつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。



下図のように接続してください。

関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

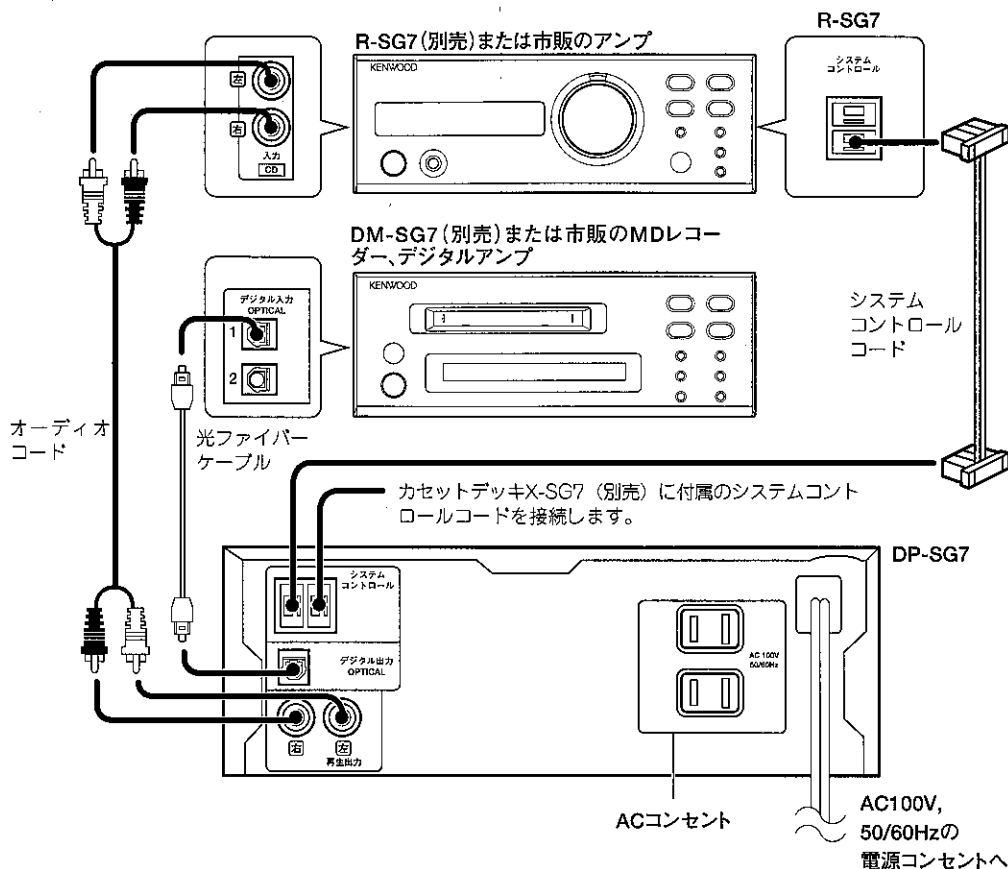


注意 接続が完了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

マイコンの誤動作について



正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。



警告 ACコンセント

背面のACコンセントが供給できる電力は200Wまでです。接続する装置の消費電力の合計が200Wを超えないようにしてください。火災の原因になります。

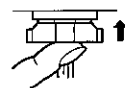
電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。

また、供給電力以内であっても、テレビなど電源を入れたときに大電流が流れる機器は使用しないでください。

DP-SG7 (JA)

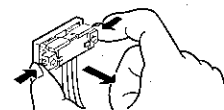
システムコントロールコードの接続

コネクタを差し込む



カチッと音がするまで平行に差し込み、確実にロックする

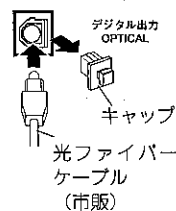
コネクタを抜く



コネクタ部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜く

光ファイバークーブルの接続について

デジタル接続に使用します。デジタル伝送により、CDの高音質を損なうことなく録音できます。また、デジタル入力(光ファイバー)端子のあるアンプに接続することもできます。



必要に応じて、キャップをはずし、光ファイバークーブルを接続してください。

- 光ファイバーは真っすぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバークーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバークーブルが、全て使えるとは限りません。接続できないときは、購入店または、最寄りの営業所にご相談ください。

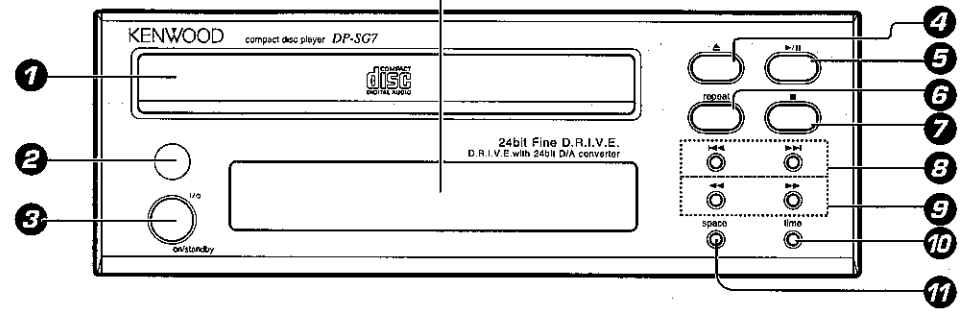
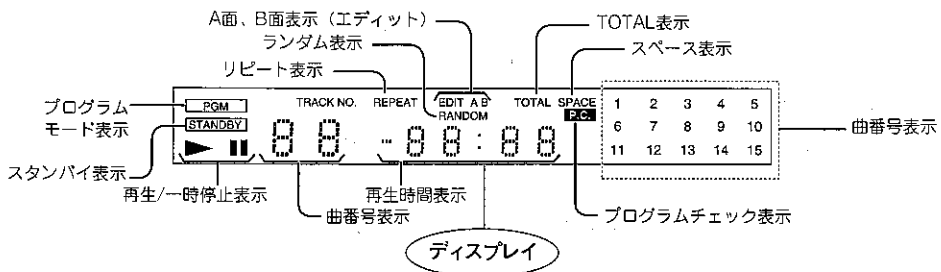
システム動作について

アンプ・チューナー(R-SG7)とシステムコントロールコードで接続されているとき、アンプ・チューナーに付属のリモコンで基本操作ができます。また、アンプ・チューナーの入力切り換えに対応した動作をするイーージーオペレーションが可能です。詳しくは、アンプ・チューナーの取扱説明書をお読みください。



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行なうと、誤動作または破損の原因となります。

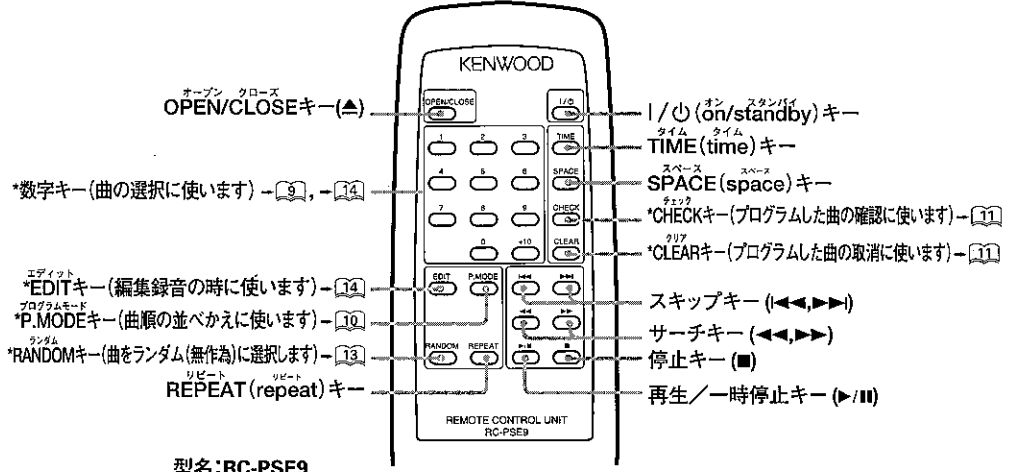
DP-SG7 (JA)



- ① ディスクトレイ
CDを取納します。
- ② リモコン受光部
リモコン(RC-PSE9)を使用するときには使います。システム接続しているときは、使用しません。
- ③ I/O(on/standby)キー
電源のオン/オフ(スタンバイ)を切り換えます。システム接続しているときは、使用しません。
- ④ オープン/クローズキー(▲)
ディスクトレイを開閉します。
- ⑤ 再生/一時停止キー(▶/⏸)
再生/一時停止キー(▶/⏸)
- ⑥ "repeat"キー
CDを繰り返し再生するときに使います。
- ⑦ 停止(■)キー
停止(■)キー
- ⑧ スキップ(◀▶▶▶)キー
スキップ(◀▶▶▶)キー
- ⑨ 早送り、早戻し(サーチ)(◀◀▶▶)キー
早送り、早戻し(サーチ)(◀◀▶▶)キー
- ⑩ "time"キー
CDの時間表示を切り換えます。
- ⑪ "space"キー
プログラム再生のときに、曲間に数秒周の無音部分を作ります。

スタンバイ状態について

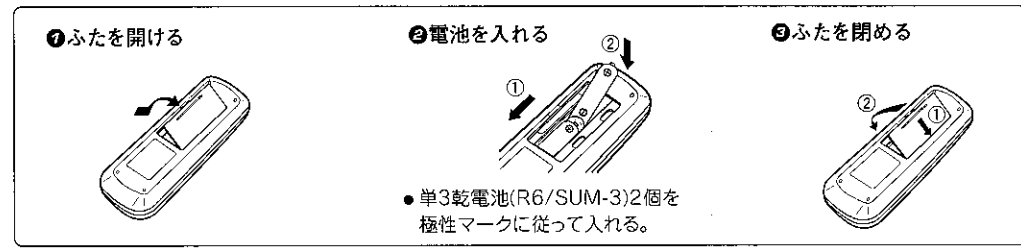
本機のスタンバイインジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。



型名:RC-PSE9
赤外線方式

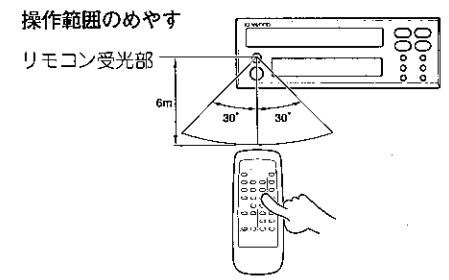
各操作キーは、本体と同じ働きをします(カッコ内は本体の名称)。*印の付いたキーは、リモコンのみの機能です。

電池の入れかた



操作のしかた

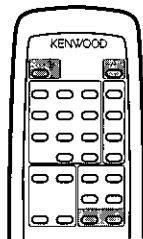
電源プラグをコンセントに差し込み、本体のI/O(on/standby)キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。



- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

- 1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
- 2. 操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- 3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

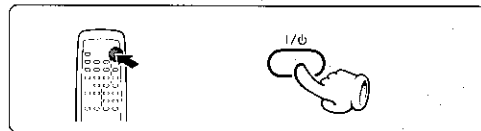
CDを1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。



■：使用するキーを示します。

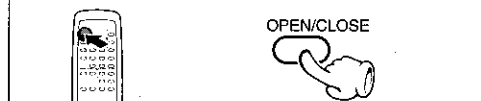
1曲目から順に聴く

1 電源をオンにする

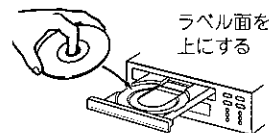


2 ディスクを入れる

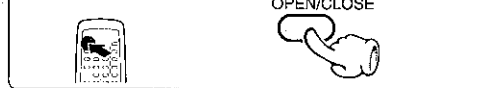
① トレイを開ける



② ディスクを入れる

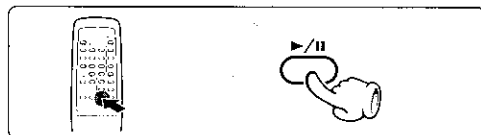


③ トレイを閉める

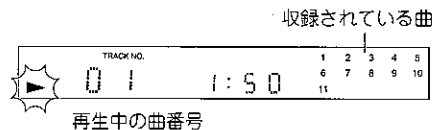


●再生面には触れないようにします。

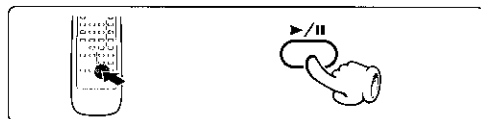
3 再生を始める



●数秒後に、1曲目から再生します。

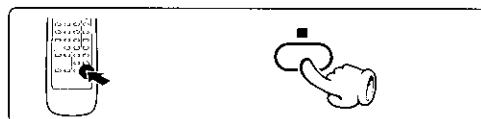


一時停止するには



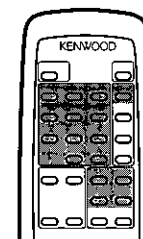
●押す度に、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止めるには



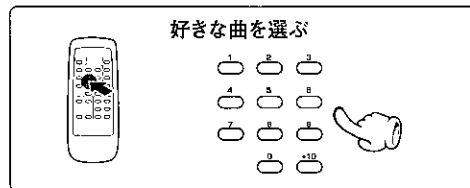
注意

レーザー光源をのぞかない
レーザー光が目にあたると、視力障害を起こすことがあります。



■：使用するキーを示します。

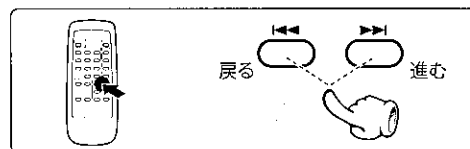
好きな曲から聴く リモコンのみ



数字キーを押す順序は...

23曲目なら: [+10] [+10] [3]
40曲目なら: [+10] [+10] [+10] [+10] [0]

曲を飛び越すには (スキップ)



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に ◀◀ キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻り、もう一度同じ曲を聴くことができます。
- さらに前の曲にスキップするときは素早く ◀◀ キーを押します。

早送り・早戻しするには (サーチ)



●手を離れた所から再生します。

時間表示について

TIMEキーを押す度に、ディスプレイの表示が切り換わります。



- ① 1: 23 再生中の曲の経過時間
- ② - 2: 37 再生中の曲の残り時間
- ③ 23: 45 TOTAL ディスク全体の経過時間
- ④ - 36: 15 TOTAL ディスク全体の残り時間

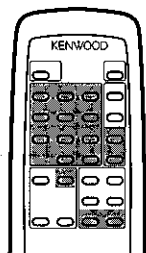
●エディットモードとランダムモードでは、再生中の曲の表示のみです。

CD TEXT 機能について

CDテキスト(タイトル名や曲名、アーティストなどの情報)が記録されているディスクを入れたとき、別売のMDプレーヤー(DM-SG7)と接続すると、MDプレーヤーにディスクのタイトル、曲名(英数字のみ)が表示されます。詳しくはDM-SG7の取扱説明書をお読みください。

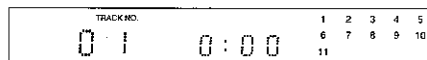
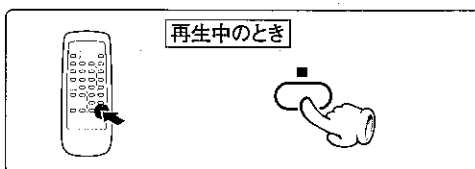
トレイに入れたディスクの中から好きな曲を、好きな曲順で聴くことができます。(最大32曲)

準備しましょう ● CDプレーヤーにディスクを入れる。

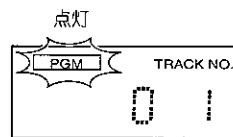
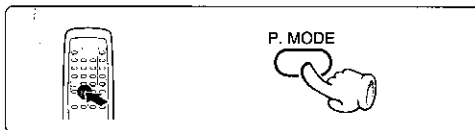


● : 使用するキーを示します。

1 停止状態を確認する



2 "PGM" 表示を点灯させる



3 聴きたい順に曲を選ぶ

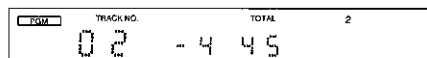
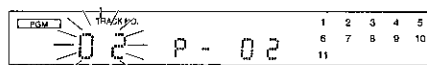
① 曲番号を選ぶ

② 確定する

③ 手順①、②を繰り返す

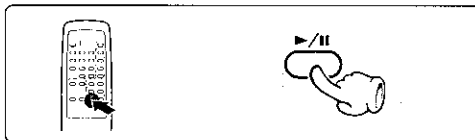
8秒以内に手順②へ

選んだプログラム番号を数秒間表示



- 32曲まで選べます。"FULL"と表示されると、それ以上プログラムは受け付けません。
- 間違えたときは、CLEARキーを押してから選び直します。

4 再生する



- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に◀◀または▶▶キーを押すと、前後のプログラム曲へ飛び越します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。

スペース機能について

曲順のプログラム中に、SPACEキーを押すと、曲間に数秒間の無音部分が作られます。(SPACEインジケータ点灯)
この状態でカセットデッキに録音すれば、DPSS機能(無音部分を探す)を使って、テープの頭出しやリピート再生などが確実に行えます。

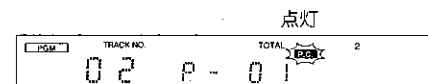
- 前曲と次曲の演奏がつながっている場合でも(クラシックやライブ収録など)、別々の曲番号がついていれば無音部分が作られます。
- 解除するときは、もう一度SPACEキーを押してください。

プログラムした曲の確認、変更するには

① CHECKキーを押す

② 変更する曲番号を選ぶ

③ P.MODEキーを押す



- 確認だけのときは、手順①のみ行ないます。
- キーを押す度に、プログラムした曲順(P-No.)と、曲番号を表示します。
- 数秒後に元の表示に戻ります。
- "P.C."表示の点灯中に押してください。
- 再生中の曲は変更できません。

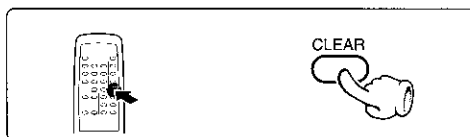
曲を追加するには

① 追加したい曲番号を選ぶ

② P.MODEキーを押す

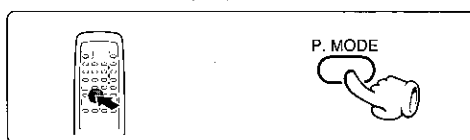
- 曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。

プログラムした曲を取り消すには



- キーを押す度に、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。
- 再生中の曲は取り消せません。

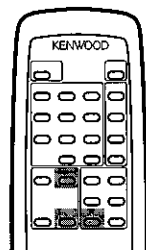
プログラムを解除するには



- 再生中は、そのとき聴いている曲から曲番号順の再生に戻ります。
- OPEN/CLOSE(▲)キーを押しても解除します。

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。

準備しましょう ● CDプレーヤーにディスクを入れる。



: 使用するキーを示します。

一枚のディスクを繰り返し聴く

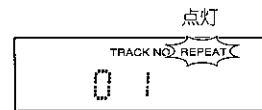
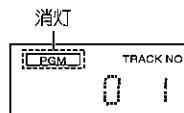
1 "PGM" 表示の消灯を確認する

プログラム表示の消灯を確認する
"PGM"表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。

2 REPEATを指定する

REPEAT

3 再生する



繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

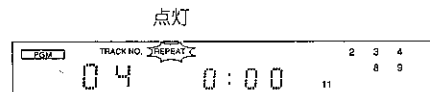
選んだ曲だけを繰り返し聴く

1 "曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)"の手順⑩までを行い、聴きたい曲をプログラムする - ⑩

2 REPEATを指定する

REPEAT

3 再生する



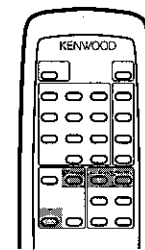
繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、CDプレーヤーのモードに従った再生に戻ります。

毎回曲がランダム(無作為)に選択されるので、長時間でも飽きることなく楽しめます。

準備しましょう ● CDプレーヤーにディスクを入れる。

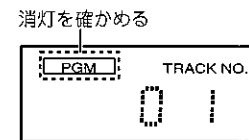


: 使用するキーを示します。

1 "PGM" 表示の消灯を確認する

消灯を確認する

プログラム表示が点灯しているときは、P.MODEキーを押して消灯させてください。



2 RANDOMキーを押す

RANDOM



- 全曲の再生が1回終わると、停止します。
- REPEATキーを押すと、ランダム再生は繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

- ◀◀ キーを1回押すと、再生している曲の初めに戻ります。

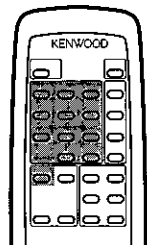
ランダム再生をやめるには

RANDOM

- 再生中の曲から曲番順の再生になります。

CDをカセットテープに録音するとき、指定時間内にテープのA面、B面とも最後の曲がとぎれないように、編集する機能です。

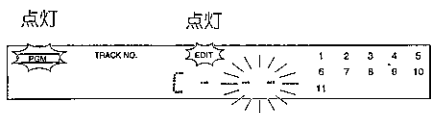
- 準備しましょう ●CDプレーヤーにディスクを入れる。
●停止状態にする。



: 使用するキーを示します。

1 "EDIT"の表示を点灯させる

8秒以内に手順 へ
8秒以上たった場合は、もう一度押します。



- EDITモードを解除するときには、リモコンのP.MODEキーを押してください。

2 テープの長さをセットする

TIMEキーを繰り返し押しすると、46、54、60、90分テープを簡単に選べます。選んだ後は、EDITキーを押します。

編集は次のように行われます

- (1) 設定時間が二つに分割され、まずAファイル(テープA面用)に収まるようトラック番号の小さい順に曲が選択されます。
- (2) 数秒後、Aの残り時間が表示され、続いてBファイル(テープB面用)が同じように編集されます。

Aファイル編集中心

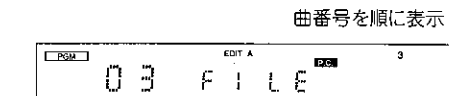
残り時間表示

- 編集が終了すると、「EDIT」が点滅から点灯に変わります。
- ディスクに1曲しか収録されていないものや、クラシックなど、1つのトラック番号で再生時間の長いものは、編集が正しく行われません。
- 編集中に■キーやOPEN/CLOSEキーを押すと、編集は中断し、停止します。

編集した内容を再生、または録音するには

- ▶/IIキーを押すと編集した内容に従って再生し、編集したB面の最初で一時停止します。続けて再生するときには、再度▶/IIキーを押します。
- カセットデッキに録音するときには、ケンウッドのカセットデッキのシンクロ録音が便利です。詳しくは、カセットデッキの取扱説明書をお読みください。

編集した内容を確認する (リモコンのみ)



- CHECKキーを押すと、編集された曲番号と残り時間が、Aファイル、Bファイルの順に表示されます。
- "PC"表示は数秒後に消灯します。

編集した内容を取り消す

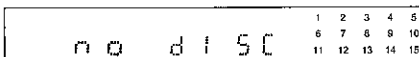
いずれかのキーを押す

- 編集内容のすべてが消えます。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. ディスクを入れずに電源をオンにします。
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。



3. 電源をオフにします。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。

このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。


セットのお手入れ

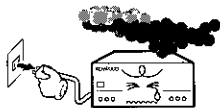
前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきます。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

異常が起きた場合は

 煙が出たり、変な臭いや音が出る場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのとき接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因によりマイコンが誤動作(操作できない、ディスプレイの誤表示など)することがあります。この場合、次の方法をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

電源プラグをコンセントから抜き、もう一度差し込み直します。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

CDプレーヤー部

症 状	原 因	処 置
on/standbyキーを押しても電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグの差し込みが不完全。 ●アンプの連動電源コンセントに本機の電源プラグが差し込まれており、アンプの電源が切られている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直す。 ●アンプの電源を入れる。
ディスクを入れても再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが裏返しに入っている。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●光学レンズに露がついている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ラベル面を上にして、正しく入れる。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 - ③ ●ディスクを取り換える。 - ③ ●"結露にご注意"を参照し、露を蒸発させる。 - ⑬
音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●再生状態になっていない。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●接続コードがしっかり差し込まれていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●▶/⏮キーを押す。 ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 - ③ ●ディスクを取り換える。 ●しっかりと接続する。
音とびがする。	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"ディスク取扱上のご注意"を参照し、ディスクを清掃する。 - ③ ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。

リモコン部

症 状	原 因	処 置
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる、角度がずれている。または障害物がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい電池に入れ換える。 - ⑦ ●操作範囲内で操作する。 - ⑦

[規格]

型式 CDプレーヤー
読み取り方式
..... 非接触光学式読み取り (半導体レーザー)

[D/Aコンバーター]

D/Aコンバージョン 1ビット
オーバーサンプリング 8 fs (352.8 kHz)

[デジタルオーディオ性能]

周波数特性 (EIAJ) 4 Hz~20,000 Hz
SN比 (EIAJ) 100 dB以上
ダイナミックレンジ (EIAJ) 96 dB以上
全高調波ひずみ率 (EIAJ) 0.004 %以下 (1 kHz)
チャンネルセパレーション (EIAJ) ... 92 dB以上 (1 kHz)
ワウ・フラッター (EIAJ)

..... 測定限界以下 (± 0.001 % W PEAK)

出力レベル/インピーダンス

固定出力 1.2V/1k Ω

デジタル出力

オプティカル -15 dBm ~ -21 dBm
(発光波長 660 nm)

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数 AC100V, 50Hz/60Hz
定格消費電力 (電気用品取締法に基づく表示) 10 W
ACコンセント 2 (非連動最大合計 200W)
最大外形寸法 幅 200 mm
..... 高さ 77 mm
..... 奥行 249 mm
質量 (重量) 2.0 kg (正味)

DP-SG7 (JA)

DP-SG7 (JA)

保証書 (別途添付)

製品には保証書が (別途) 添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションへお問い合わせください。
(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーションが修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼されるときは、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状 (できるだけ具体的に)
- ご住所 (ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器 (基本システム) すべての保証修理が受けられます。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 ()



1. これらの定格およびデザインは、改善のため、予告なく変更することがあります。
2. 極端に寒い (水が凍るような) 場所では、十分な性能が発揮できないことがあります。